

文化財展示施設の設置に関する市民説明会 ご意見・質疑応答

第1回 日 時 令和6年1月13日（土）午後2時から午後3時30分まで

場 所 あやめ会館3階多目的ホール

参加者 37人

ご意見・ご質問等	市の回答
<p>ユニバーサルデザインを特に進めていただきたい。シニアクラブで葦山時代劇場の大ホールや図書館を使うとき、足の悪い方や車いすの方は葦山駅から一人で行くことができない。そのことも加味して施設の入口などを考えていただきたい。</p>	<p>基本方針の中でも「環境やユニバーサルデザインに配慮した空間」と位置付けているし、しっかりと考える。</p>
<p>前回の市民説明会でも話題になっていたが、施設を大駐車場の南側に配置する件について、（北側に設置した場合の方が）駐車場の数が減少するという理由だったと思うが、自動車利用者を中心に考えてしまっていないだろうか。歩行者、駅の利用者を中心に考えていただきたい。</p>	<p>配置は北側が良いという話はよく分かるし、何度かご意見をいただいている。しかし、南側への設置の理由は、駐車場の台数が減ることだけではなく、複合的な面からである。再三説明しているとおり、葦山時代劇場と共用の駐車場なので、葦山時代劇場利用者からすると利便性が悪くなる。意見として受け止めるが、現段階では北側に建設することは難しいと考えている。</p>
<p>教育関係者と協議して決めているとのことだが、熟度が乏しいのではないか。例えば、葦山反射炉ガイダンスセンターはプロローグが狭くて団体客が入り切れておらず使い勝手が悪いのが実情。新展示施設のL字型の（常設）展示室も、ソフト面での使い勝手が良くないように感じる。ぜひ、市民の意見をもっと反映していただきたい。</p>	<p>展示内容や教育プログラムについて熟度が乏しいとのご意見だが、まだ決定したことはなく、いろいろな検討を進めている段階である。ブロックプランは、2階のスペース全体を考えてこのような案を描いている。新施設のプロローグ展示の面積も、2階の600㎡をどのように割り振っていくか引き続き考え、どこかの段階で決定していく。</p>
<p>建物の建設に伴い人材もつくっていくべきだ。説明があった展示構成や柱を達成するためには、人材育成が不可欠である。開館と同時に元気に活動することに向けて、人材についての進捗はあるのか。</p>	<p>人材育成については、内部で検討を進めている。令和8年4月開館を予定しているが、開館と同時に新たに人を呼ぶのではなく、準備段階から新施設に関わる人材を育成していく。</p>
<p>館の運営は、専門職だけではなく、市民の協力が必要だと思う。昔語りの会などの市民団体の意見も</p>	<p>ご意見としてしっかり受け止める。専門的なことは専門家の先生方による</p>

<p>同時に取り入れないと良い施設にはならない。開館と同時に元気に活動するためにはそのような人材も育てていかないといけないと思う。</p>	<p>専門部会が、教育的なことは教育部会があり、市の建物としては市役所関係4部署6課によるプロジェクトチームで進めている。それらに加えて、ご意見にあったようなチームの立ち上げも検討する。建設の計画は現段階から進めていかないといけないが、ソフト的なことは時間が多少はあると思っているので、しっかりと進めていく。</p>
<p>人材についてまだ時間に余裕があるとは思っていない。歴史を学ぶことが未来を拓くきっかけになるし、新施設については良い仕事だと思う。施設を活性化するのは私たちの力にかかっている。きちんと館長を置いて、館長が準備段階から支度をしていくために、人材についての事項を置き忘れてはいないか。人材育成は時間がかかる。人材についての組織も同時に置いて進めてもらいたい。施設ができたときには元気に作動していけるようにしていただきたい。</p>	
<p>今の意見は、要するに「愛する人たち」を市民の中から育てていこうという話だと思う。ガイドの会や反射炉を愛する会があるように。集団は年齢差があればあるほど長続きするという話がある。歴史好きな市民は多様な年齢層にいると思うので、そういう人々を集めた会を作ってほしいという話をしたかったのだと思う。</p>	<p>博物館の友の会やサポーターといった、市民の力をお借りした組織をとすることは、これから考えていく。</p>
<p>大駐車場の南側に建てる件について、私は北側に造った方が良いと思っている。ただし、時代劇場と一体で使うのであればなるべく近い方が良いが、そうすると時代劇場を使う人が不便になってしまうし、大駐車場は新施設のためだけのものではないことも承知している。せめて、人が歩くアプローチはできないものか。学校の引率や雨天のときに困ってしまうおそれがある。</p>	<p>北側への設置を望む声については承知している。現在の大駐車場には駐車場を東西に区切る分離帯のようなものがあるので、それを利用して安全を確保できるような歩行者のアプローチを確保することを考えている。</p>
<p>そのアプローチに屋根はあるのか。</p>	<p>この新施設は市役所のものではなく、市民のためのものである。歴史ガイドの会などがあるように、友の会、要はサポーターが来館者に対して説明</p>

	<p>する機会があったり学習する機会があったり、市民が主体になって創っていくものだと考えているので、それはもったいな話だと思う。市でも十分検討していく。アプローチの件ももったいな話であり、できれば屋根があつて傘をささずに行ければ良いし、例えばベンチを置いて休むところがあるなど、これから検討していければいいと思う。ただ、それにいくらお金がかかるかということもあるので、総合的に判断していく。</p>
<p>新展示施設について、歴史ガイドの会は大変喜んでいて。先ほどの質問で「たくさん人が来たらどうするか」など色々言われているようだが、葦山反射炉ガイダンスセンターでも臨機応変に対応できている。建物が無い限りはこういう案は生まれないので、建物をまず建ててもらえれば良いと思う。</p>	
<p>館のシンボルは考えているか。外国の博物館の例を挙げると、入館してすぐ何億という大きな数字が並んでいた。聞くと、これは地球上に住む人数であるという。それを見に来るだけでも圧倒されると思う。しかも、それをガイドしてくれたのが小中学生くらいの年齢の子どもたちであった。先ほど、施設の運営について意見があったが、歴史ガイドの会はもちろん全面協力する。それ以上に、小中学生を活用してもらいたい。興味を持ってもらい、郷土に自信を持ってほしい。そうしないと、せっかく施設を造っても意味がない。</p>	<p>シンボルについて、現段階では考えていない。モノを置くのが良いのか分からないが、お金をかけずにとということであれば、期間限定でモノを置くとか、タペストリーを設置するとか、そのようなことは考えたい。小中学生の関わりについて、基本構想の説明会時に「小中学生に話をしても分からないのでは」という意見があった。しかし、本日も小中学生向けのアンケートの結果をお示ししたが、自由記述の内容を見ても、小中学生は頼もしいなと思う回答が多くあった。先ほどの人材育成・活用について言えば、ガイドは難しいとしても、例えば、フロアの案内などでも関わってもらえれば良い形だと思う。</p>
<p>今はタブレット端末が小中学校に導入されたが、タブレット端末では学習に限界がある。歴史の勉強は、年代や人物名を覚えることではなく、なぜこう</p>	

<p>なったのかという疑問を持つことが大事。そのためには、現地に来てもらい、触れて体感しないと分からない。今年度耐火煉瓦を焼いたが、重さが異なる煉瓦が焼けたので受付に置いたところ、来館者は手に取って重さを体感してくれた。それが分かると、ガイドの説明もより実感できるようになる。実際触れるような展示の設置と、動線も一考願いたい。</p>	
<p>他市町では、地域の歴史や民話、昔話を使ったまちづくりを一生懸命行っている。地域によっては、モノが無く紙芝居を使って伝承しているところもある。伊豆の国市は、これだけの歴史を持っていながら地域での活用がされていない。市長の最初の挨拶のとおり、「市民に知っていただけていない」のではないかと。興味の無い方もいるだろうが、子どもの頃から親しむことで興味を持ってもらい、将来的にその資源を使って町おこしにつなげるという観点から、この新展示施設は重要な役割になっていくと思う。そのためには、何度も来てくれるような施設にしていかななくてはならない。重要なことは、企画展のような形で工夫を凝らすということで、何度も来てくれる施設を目指してもらいたいと思う。観光客のために作るのかと思っている人もいるようだが、そうではないことをもっと広めていただきたい。また、人が多いところに造れば良いと言う人もいるみたいだが、コバンザメ的な施設ではなく、この施設のために足を運んでもらえる施設になって欲しいと思う。</p>	
<p>モニュメントの話だが、玄関前に広場的なものを造って、高床式倉庫や竪穴式住居を復元し、そこで子どもたちが実際に中に入れる体験型のものにしてはどうか、登呂遺跡のような。駐車場の南側に施設を建てるようだが、そのさらに南側は田畑があるので、借地にして古代米を作る体験をしたらどうか。本物を施設内を見て、体験を外ですするという両方ができれば、より学びになるのではないかと。文化財保護法は、いわゆる保護・保存する観点からつくられているが、現在の文化財行政は地域の活性化、観光に使う、他地域の人に来てもらうという、外に</p>	<p>広く文化財全般に関してご提言いただいた。その中でも、山木遺跡に関して言うと、我々も既に登呂博物館の職員の方に話を伺っており、これから何か共同企画ができないかという話もしていきたいし、いろいろなことを前向きに考えていきたいと思っている。</p>

<p>向けて発信するという役割もあるだろう。歴まち（地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）の関係で、三島市、伊豆の国市、下田市、史料館を作り直すという伊東市、これらで連携して共通の企画展を同時に行うなどして観光客に伊豆半島に来ていただくということも必要だろう。三島市とは周年記念の時に協定を結んでいるし、富士市と沼津市と三島市は博物館の協定（3市博物館連絡協議会）を結んでいて、共同企画展を実施している。文化財の関係者が同じような企画をするなど、観光客に伊豆半島に来てもらう工夫をしていっていただきたい。</p>	
<p>実際に資料館を見てもらう前に、オンラインで学校とつなぎ、下準備・予備的な学習をしてもらうのが良い。福岡県の海の中道水族館（マリンワールド海の中道）に行ったとき、学校向けにオンラインをやっていると聞いた。ハード面での問題はあと思うが、下準備的にやっていくといいだろう。</p>	<p>市側からの一方的な学習の押し付けになってしまわないように、学校現場としてどうあると良いのか検討するため、教育部会の委員として現役の学校教諭に入ってもらうなどしている。教育以外のことも含めて、これからもしっかりと検討していく。</p>
<p>展示施設には、長期的な展示と一時的な展示がある。伊豆の国市は、古代からずっと歴史が続いている。山木遺跡など古いものもある。今の状態で考えると、2階建てでは足りない。葦山郷土史料館は1階が山木、2階が中世～近世で時系列だった。今回の展示施設は2階しかなく、長期的・短期的な展示がまとめて1フロアしかない。時系列が分からないと歴史は分からない。子どもたちにも分かってもらうには、時系列がわかるような年表が必要であり、面積が足りない。展望施設は、必要なら3階を展示室にして一部を展望にすれば良い。予算が足りるなら総3階建てにしていただきたい。市内から出城の関係もまだ見つかるかもしれないので、そのためのスペースが必要になる。</p>	<p>ご意見として受け止めるが、安易に「総3階建ても検討する」とは言えない。ただ、言われることはそのとおりで、長期的なものを常設、短期的なものを企画展で展開する。市内で発見されたもので速報的に企画展示を行い、その後、常設展示に反映させるというサイクルはあると思う。時系列の話についてだが、来館者は年表を隅から隅まで読むだろうか、のっぺりとした年表を作ってしまうと良いのか、その辺りについても検討し、見せ方も工夫をしていきたいと思う。</p>
<p>豊臣秀吉の軍に攻められても落ちなかった城ということで、将来的に復元するのであれば、博物館にあるようなガラスケースに入った模型などの葦山城に関する展示施設があったらいいなと前から言っているファンの方もいる。今までの展示施設を</p>	<p>葦山城に関して言えば、令和7年度に国史跡の指定を目指していることもあり、それを踏まえて関連した企画も行っていきたいと思っている。</p>

<p>少し大きくした程度では面積が足りないはず。30年、50年と使い続けられる施設にしていくためには、お金のことも関係すると思うが、許されればぜひ3階建てにしていきたい。</p>	
<p>基本構想の市民説明会にも参加して発言したが、やはり大駐車場の北側に建てていただきたい。小中学生もアンケートの中で食事や休憩場所が欲しいと言っている。本来は、時代劇場という素晴らしい施設があるのだから、一番良いのは時代劇場の中に建てることだろう。それはきっと市も検討していたのだと思う。時代劇場内に3階建てで作り、2～3階に展示室を造るのも一つの案である。</p>	<p>ご意見を広く聞くと言いつつ、変わらないではないかと言われてしまうかもしれないが、現段階では南側への設置を計画し、それは、歩く距離だけではなく色々な理由を勘案し、そのような判断をしているということでご理解いただきたい。</p>
<p>ブロックプランにある展望室を見ると、階段が2方向しかない。本当は3方向必要だと思う。仮に3方向必要だとすると、これでは面積が足りない。できればもう少し広くした方が良いのではないか。</p>	<p>確認する。</p>
<p>資料館で完結するのではなく、ここを足掛かりに、現地に足を運ぶきっかけになる施設にしていきたいと思った。</p>	
<p>先ほどの「人を育てる」という話の続きだが、3月2日に開催される市民講座のようなものをそれぞれ計画的にこれからも続けていっていただきたい。そういうことから興味を持つ市民、子どもたちも増えるのかなと思う。</p>	
<p>やはり市は駐車場の南側がベストだと思うのか。長い時間や物理的に考えて北側が勝るはず。その考えに自信があるのか。</p>	<p>利便性や駐車台数の問題その他色々な理由から、南側を考えている。市として議論を重ねた上でのことである。</p>
<p>良いものを造るのだから、そのときの都合もあると思うが、10年20年経ったときに良かったと思う仕事をしていただきたい。</p>	
<p>本当にユニバーサルデザインを考えていただきたい。高齢者や障がい者が使いづらい施設ではいけない。子どもたちに何かを伝えたい高齢者は多いと思う。交流することで、子どもたちから元気をもらう高齢者、高齢者から学びを得る子どもというのが本来のまちの在り方だと思うので、よろしく願いしたい。</p>	<p>承知した。</p>

第2回 日 時 令和6年1月13日(土) 午後6時から午後6時45分まで
 場 所 あやめ会館3階多目的ホール
 参加者 10人

ご意見・ご質問等	市の回答
<p>前回は大仁で参加したが、市としてこの施設を造っていくという意思の強さは分かっている。市民の中には、もっと子育て世代にお金をという意見もあったようだが、自治体があれば文化施設は必ず必要になるものだと思う。せつかく新しいものを造るのならば、展示しているが来館者は少ないというものではなく、市民向けのイベントも開催していただき、小中学生の勉強の場だけではなく、住んでいる地域の歴史をいつでも体験できるような施設にしてほしい。何回も訪れやすい施設にして、1回行ったからもういいという施設になってほしくはない。せつかく時代劇場に隣接した場所ならば、市民にたくさん利用してほしいという市の意向もくみ取れる。私は大仁地区の出身で、大仁の資料の展示を見ているが、土器が多かったと思う。市になってからは、韮山や長岡地区の歴史も見せていただきたいし、歴史が長いならばその変遷を見せていただきたい。年表について、私はあって良いと思う。高齢者はデジタルの操作が難しいと思うので、やさしい設備にしていきたい。施設が完成すれば、市民は1回は行くと思う。持続的に企画展を開催し、魅力のある施設、造って良かったと思われるような施設にしていきたい。小中学生がまだ伊豆の国市の歴史や施設を知らないというのが実態だなと思った。子どもたちが伊豆の国市を支えてくれるような気持ちになれる施設になってほしいと思った。</p>	<p>ご意見はそのとおりだと思う。反射炉にしても、観光客は1回見ればいいとなってしまふ、新しいものがない限り。我々も色々な展示施設を視察しているが、そういう施設はひっそりとしている。この展示施設は、市民交流スペースもあるし企画展示もあるので、期間毎に新しいことを行っていく。企画展示では、例えば伊豆の国市には(海の)漁業が無いため、漁具を展示するなどして市内の子どもたちに知ってもらいたい。専門家の知恵も拝借しながら、努力していきたい。移住者は、伊豆の国市の文化財を見て回ったことは無いと思うので、まずは知っていただきたい。市民に誇りを持っていただきたいし、子どもたちはアイデンティティにしてほしい。市民がどこに行っても「伊豆の国市は歴史のまち」と自信を持って説明できるようにしていきたい。</p>
<p>漁業が無いとのことだが、(狩野川)漁協はある。私は白山堂の原の出身で、昔、父は鮎釣りをしていた。ぜひ川の漁業も入れてほしい。</p>	<p>もちろん展示したい。先ほど申し上げたのは「海の漁業が無い」という意味であった。</p>
<p>昔は川の漁業もあり、鮎を網で捕ったことも思い出した。地域の産業として農業だけではなく漁業で生活していたという歴史は今の子どもたちは知らないと思うので、ぜひ展示してもらえたらと思う。</p>	<p>「狩野川を軸として自然に育まれた歴史」ということでしっかり位置付けているので、何らかの形で反映させていきたいと思う。</p>